

平成11年5月27日
原子力安全対策課
(11 - 24)
<14時記者発表>

高浜発電所4号機の定期検査状況について
(蒸気発生器伝熱管全数の渦流探傷検査結果)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

高浜発電所4号機(加圧水型軽水炉;定格出力87.0万kW)は、平成11年4月22日から第11回定期検査を実施しているが、蒸気発生器伝熱管の健全性確認のため伝熱管の全数(10,115本)について、渦流探傷検査(ECT)を行った結果、C-蒸気発生器の伝熱管4本の高温側管板拡張部において、有意な欠陥信号指示が認められた。(表-1)

今後、信号指示が認められた伝熱管1本については抜管を行い、試験施設にて詳細調査を実施する。

なお、信号指示が認められた伝熱管4本は、管板部で閉止栓(機械式栓)を施工し、使用しないこととする。

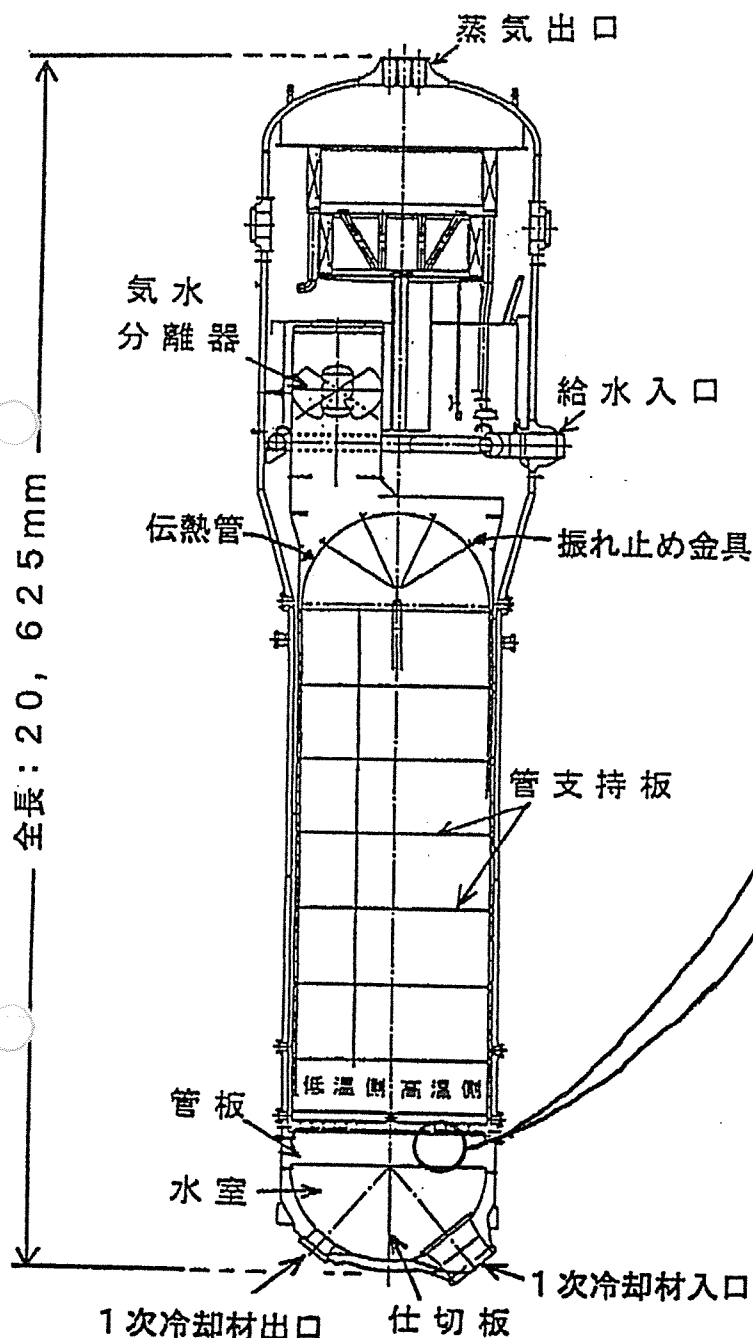
(通産省によるINESの暫定評価尺度)

基準1	基準2	基準3	評価レベル
—	—	0—	0—

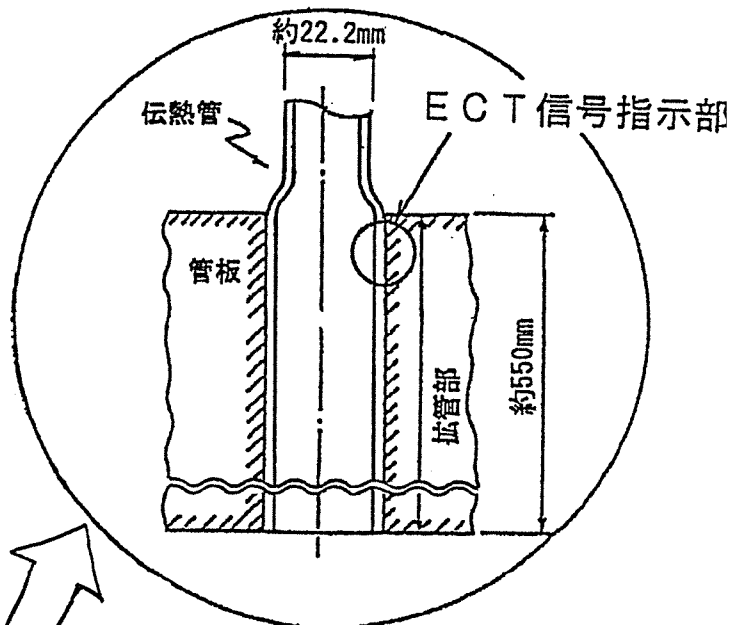
表-1 蒸気発生器伝熱管信号指示本数および施栓状況

	A-SG	B-SG	C-SG	合計
検査対象本数	3,365	3,373	3,377	10,115
信号指示管本数 (管板拡張部)	0	0	4	4
既施栓管本数 (予防施栓数を含む)	17	9	5	31

高浜4号機 蒸気発生器伝熱管のECT概要図

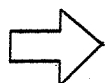
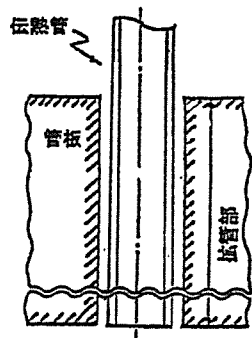


ECT信号指示部拡大図



伝熱管外径: 約22.2mm
 " 厚さ: 約1.3mm
 " 材質: インコネルTT600
 (特殊熱処理材)

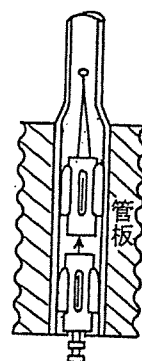
管板拡張概念図



液圧拡張



ローラ拡張



した後

(1~22ステップ)

関西電力（株）高浜発電所４号機の定期検査中に発見されたトラブルについて

平成１１年５月２７日
資源エネルギー庁

関西電力(株)高浜発電所４号機（加圧水型、定格出力８７万キロワット）は、平成１１年４月２２日から定期検査を実施中であるが、３基ある蒸気発生器の伝熱管全数（既施栓管を除く１０，１１５本）の渦流探傷検査を実施したところ、４本の伝熱管に、高温側（１次冷却材入口側）管板拡張部で欠陥が生じていることを示す信号が認められた。

これら４本の伝熱管については、施栓し再使用しない予定であるが、１本の伝熱管を抜管し、詳細調査を実施することとした。

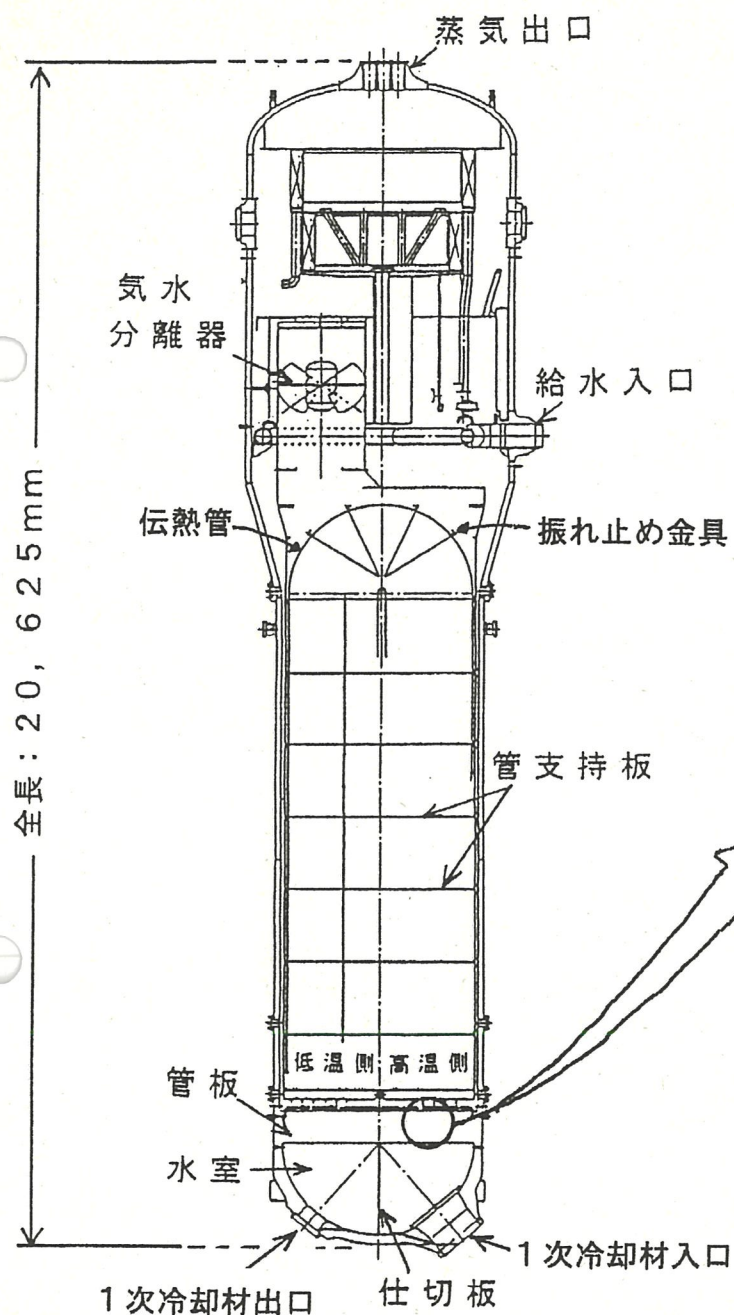
なお、外部に対する放射能の影響はない。

（ＩＮＥＳによる暫定評価）

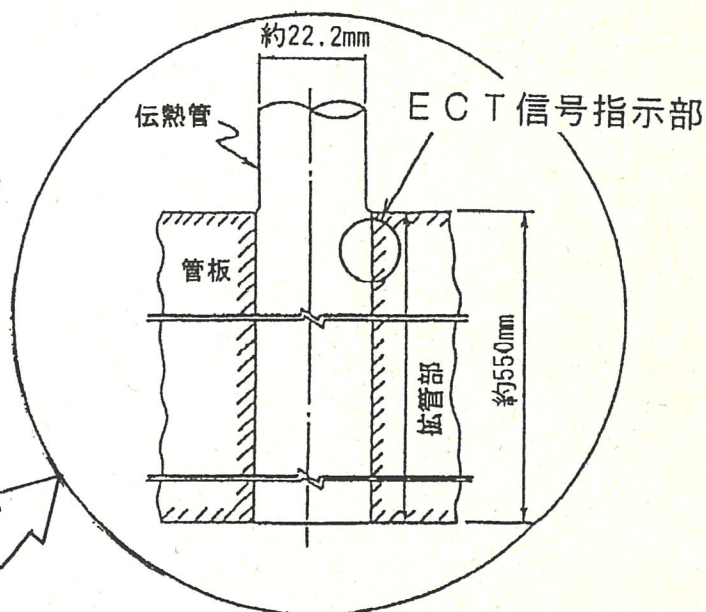
基準 １	基準 ２	基準 ３	評価レベル
—	—	０—	０—

問合せ先：原子力発電運転管理室
内線３８０７ 直通３５０１－１７３９

高浜4号機 蒸気発生器伝熱管のECT概要図



ECT信号指示部拡大図



伝熱管外径: 約22.2mm
 " 厚さ: 約1.3mm
 " 材質: インコネル600
 (特殊熱処理材)